

～神楽坂は小さなフランス！？～
Très bien !



メンバー紹介

・三木 淳平 ・中島 亜有 ・新橋 悠花 ・榎 瑠渚 ・川島 志音

調査日：2018年11月28日

～神楽坂の概要～

- ・ 在留人数（神楽坂のある新宿区に住むフランス人）

1091人
(2011年)

日本全体に住むフランス人→約1万人

* ちなみに…神楽坂在住外国人：79人

神楽坂在住日本人：2453人

- ・ 雇用形態：バイト・パートや正社員の登用
(人文知識・国際業務)

～神楽坂はどこにある？～

- 集住地
東京都新宿区の笹笥地域を中心（四谷・榎町地域でも増加）
- 神楽坂の周辺地図



神楽坂の歴史（エスニシティとして）

- ・戦後、戦勝国であるフランスは日本との国交回復のための策の1つとして、フランス語学校が神楽坂に開校された。ここに、そこで働くフランス人教師とその家族が住み始め、そんなフランス人をターゲットにできた店も次々に開店していった。そのため、フランス人の集住が始まり、今では東京に住むフランス人の約4分の1がこの町に住むようになった。

神楽坂の歴史（江戸～明治）

- ・ 神楽坂通りは17世紀前半の江戸時代、3代将軍徳川家光の時代に開通した。
元々町屋が存在していたが、江戸城外堀が掘削され、神楽河岸が形成されたこの物流拠点の存在が、後の神楽坂の発展に大きく役立った。
- ・ 江戸時代が終わり、明治時代になると東京遷都が決まり、新住民が増加し始めた。神楽坂通りの商店街はこの頃から急速に発達し、近代文学の代表的な作家である尾崎紅葉・夏目漱石・坪内逍遙らがこの地に住むようになり、
神楽坂は文化的な成長も果たしていった。

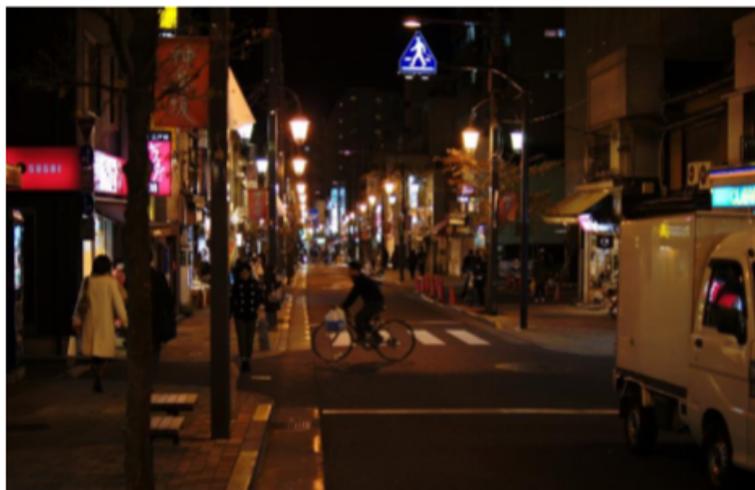


神楽坂の歴史（大正～昭和）

- ・大正時代の初めには、神楽坂はすでに東京でも有数の町となっていた。大正12年の関東大震災の際も、台地の神楽坂は被害が少なく、銀座の有名店が軒並み神楽坂に出店した。そのため、神楽坂は「山の手随一の繁華街」「山の手銀座」とも言われ、めざましい発展を遂げた。しかし、東京の復興が進むと神楽坂は新宿や渋谷といった街々に人気を奪われその地位が少しずつ低下していった。その後、昭和20年の空襲により、東京は荒れ、神楽坂もその例に漏れず多大な被害を被った。

神楽坂の歴史（昭和～現代）

- ・戦後、神楽坂はいち早く復興を果たし、昭和30年代にはピークを迎えた、しかし、バブル経済の時代に、無秩序な開発が進み、「神楽坂らしさ」は徐々に失われていった。しかし、現在では、江戸の風情を残す独特な町作りがなされており、おしゃれなレストランが集まるスポットとして知られるようになってきている。

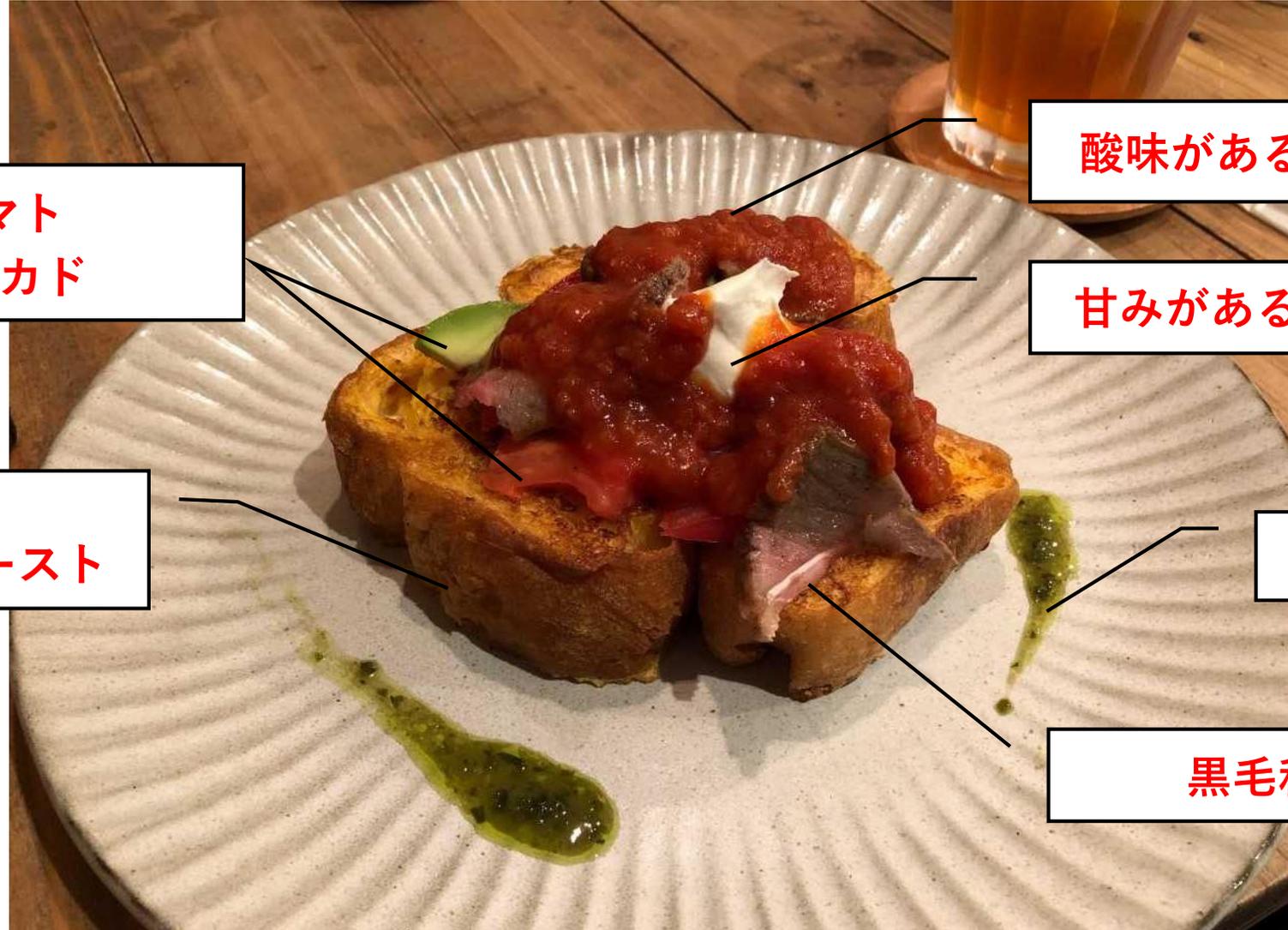


ル・パヴェエ



- ・店内は木目でおしゃれ。
- ・雰囲気はカジュアル。
- ・洋楽が流れていた。
- ・店員さんは清潔感があった。
- ・客層は大人の女性が多かった。

黒毛和牛フレンチ トーストガスパッチョ



トマト
アボカド

酸味があるトマトソース

甘みがあるクリームチーズ

甘みなしの
フレンチトースト

バジルソース

黒毛和牛

パフェのナッツティカaramel



中に、小さくカット
されたフレンチトースト

甘さ控えめな
バニラアイスクリーム
生クリーム
チョコソース

苦めなカaramelソース

大粒のナッツ

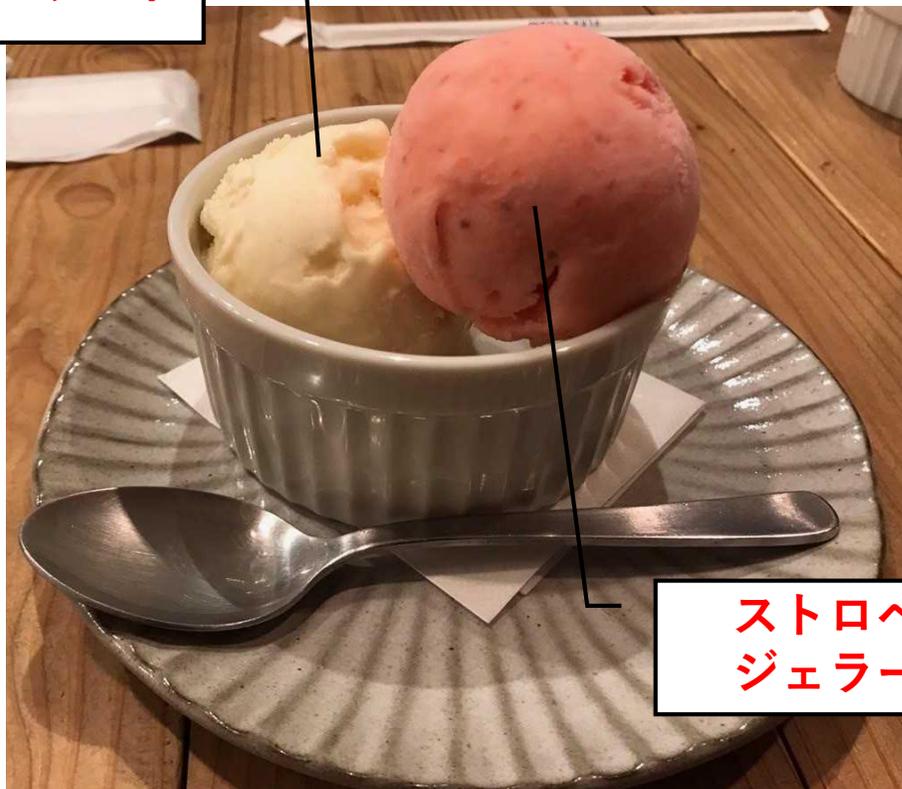


バニラストロベリー ジェラート



モンブランケーキ

バニラジェラート



ストロベリー
ジェラート

ピスタチオ



細かく刻んだ栗

～神楽坂の問題点～

< ターゲットの変化 >

- ・ 神楽坂 = フランスの概念を壊したくない
- ・ 高齢化 → 若い人を取り込みたい
- ・ フランス人を集めたいが集まらない
→ 本当は日本人を取り込みたい

神楽坂を調べて

- * 神楽坂には“プチフランス”の雰囲気があった
- * 個人経営のおしゃれで質の良い店舗も多い
- * 神楽坂周辺はビル群、再開発の波が迫っている
- * 集客、後継者、伝統の継承など問題も多いが“和×洋”を実現してほしい

参考文献

- www.gakugei-pub.jp/judi/semi
- furusatotokyo.web.fc2.com/07

「知られざる、東京の外国人街」

< www.ntv.co.jp/zip/onair/hatenavi/404614.html >

「神楽坂の歴史」

< www.ntv.co.jp/zip/onair/hatenavi/404614.html >